

2015 年度 1 月度 第 53 回野田村仮設住宅訪問ボランティア活動報告 2016 年 1 月 22 日（金）

この活動も 53 回目、今回は三日前に降り積もった雪に迎えられました。派遣礼拝では田代牧師がメッセージをしてくださいました。マルコによる福音書 1 章 1 節から、マルコが伝えているイエス・キリストの福音の初めとは、教会が送り出そうとしたマルコ自身も様々なスツアモンドの果てにあり、それでも遣わされるマルコがいたことを分かち合いました。そして私たちもそんな風に遣わされたいと願い、祈られていることを感謝しました。



今回はメッセージもして下さった白くま先生こと、田代牧師が目の前で豆を挽いてくださる白くまカフェ、そして野田村の方がたのソウルフードであるお餅を使ったお雑煮とあんこ餅（おぜんざい）、北海道から持参したお菓子にリンゴと、少しずつ持ち寄ったものがお皿いっぱい並べられました。



高台地区の復興住宅（個人購入）や復興支援住宅（賃貸）は今春の引き渡しに向け、仕上げの追い込みに当たっていました。でも一方で、まだ行き先が決まらず仮設住宅に残らざるを得ない方がたもおられるとのことでした。「最後の一人が出て行くまで」との理念は私たちの活動にとって最も大切にしたい視点ではないでしょうか。



午前中は野田中学校の仮設住宅、午後には泉沢地区の仮設住宅でお茶会を行いました。写真は泉沢地区の茶話会の様子です。8世帯余りとなった泉沢地区仮設住宅ですが、5名の方々が参加してください、久しぶりに集会所の「狭さ」を感じました。仮設住宅の軒には流れずに残ってしまう雪がたくさんあり、それによって玄関が結露し、履物が濡れてしまうと嘆いておられました。構造的に不安を抱えながらも、あと少しと我慢している方がたの姿にいじらしさも覚えます。さてこれからどう共に歩いていくか、私たちも知恵を出し合いながら小さなことに忠実に歩いてゆきたいものです。